

コラム「何をするかより、何を問うのか」empubliC代表 広石拓司

起業でも、地域づくりでも、先行事例を学ぶことが大切です。先行事例には、自分一人では思い浮かばないアイデア、効果的な進め方のヒントがたくさんあります。行事例を学ぶ際、その人が「何をした」のか、に注目してしまいがちです。

先行事例を学ぶ際、注意しないといけないのは、いくら優れた事例でも、それは「過去に起きたこと」ということです。その事例が成功したのは、その時、その場だったからこそ、ということも多くあります。起きたこと、したことは、過去のストーリーとしていいのですが、「次の事業」をつくるのに直接は役立たないでしょう。

実は、先行事例で学ぶべきことは、鍵となるしたことを生み出した「問い」を学ぶことです。困難な状況で打開策を生み出したのは、現状に縛られずに「問うていた」からでしょう。そこを学ぶことができると、現状の困難にどう向き合えばいいか、学べます。それが今、次を考えるための大きなヒントになるのです。

今、サステナビリティやSDGsを考える際に気を付けないといけないのは、「問い」の変化です。例えば、ハイブリッドカーのプリウスは、「環境にいい車は？ 燃費をよくするには？」という問いから生まれました。石油燃料を使うことを前提に、低炭素を問うていました。

一方で、テスラのEVが生まれた問いは、「脱炭素へのエネルギーシフトを起こすために、何が変わればいいのか？」でした。石油文明の象徴である自動車が変われば、そこを中心にエネルギーシフトが起きるだろう。それにはまず、燃費の悪い高級車がステータスと思っている富裕層が、競って買いたくなるようなEVが必要だ。

先行事例を「何をしたか」に注目しすぎ、「問い」を見落としていないか？新しく起きていることを、「古い問い」で見えていないか？今、自分は何を問うといいのか？ぜひ共に考えていきましょう。



サステナビリティをビジネスで推進するための問いかけ力

～SDGs時代の仕事・組織のイノベーションに求められる場づくりとは？

変化の時代に「自分たちのビジネスはどう社会に必要とされるのか？ どのように中長期的に存続・発展できる基盤を整え、事業を構築していくのか？」を、仲間・同僚・上司・経営陣に対して、顧客や取引先、株主に対して、地域社会に対して、どのように問いかけ、対話を進め、関係を構築していくのか。対話と演習を通して、共に考えましょう！

- 第1回 SDGsがビジネスに問いかけていること
- 第2回 21世紀のビジネスを構想し、イノベーションを促すには？
- 第3回 2025年の最高の仕事をデザインする問いかけ

【木曜夜コース】10/17、31、11/14 各回 19:00～21:40

【日曜1日集中コース】11/10 9:30～18:00

全3回セット 18,000円 【ナビゲーター】 広石拓司

詳細・申込 <https://empubliC.jp/9230>

ゼミ「問いかけ力を磨こう」(全6回) ～本質を探り、変化を生む場をつくるために



情報も、多様な選択肢もあふれる中で、 自分の道を拓くのは「問いかけ力」

組織や社会のこれまで解決できていない複雑な問題に挑む時、新規事業を創る時、必要なのは、質の高い問いを設定できるか、そして、その問いを適切に周りと分かち合い、共に挑む関係をつくっていきけるか、です。

このゼミでは6つの視点から対話と演習、実践体験を通して自分の問題意識を多面的に磨くことで、質の高い課題解決につながる問いかける力と場づくり力を身につけます。

1. 問いかけ入門
～探求と関係づくりの問いかけをしよう
2. 関係性を育む問いとは？
～合意形成ファシリテーション
3. 学びを促す問いとは？
～ラーニング・ファシリテーション
4. チーム力を高める問いとは？
～ダイバーシティ・ファシリテーション
5. 今ある問題の本質に迫る問いとは？
～システム思考・ファシリテーション
6. 未来を拓く問いとは？
～デザイン思考とイノベーションのファシリテーション



詳細は、
問いかけゼミの
ページで

【1/14～火曜夜コース】

1/14、21、28、2/4、18、25 19:00～21:40

【日曜2日集中コース】

11/24、12/15 9:30～18:00

全6回セット 30,000円

(欠席の回については、別コースへのふりかえが可能です)

【ナビゲーター】 広石拓司 (エンパブリック代表)

詳細・申込 <http://empubliC.jp/questioning>

ワークショップの詳細・申込は、
ばづくるスクールのページで

http://empubliC.jp/nez_studio

株式会社エンパブリック

エンパブリック根津スタジオ

東京都文京区弥生2-12-3 (千代田線根津駅1分)

お問い合わせは info@empubliC.jp まで



SDGs時代に複雑な社会問題に挑むための パートナーシップ戦略

～立場・考えの違う多様な人の力を持ち寄る
コレクティブな協働を進めるには？

11/23日 10:00 - 12:30

社会、ビジネスでますます増えている「複雑な、正解のない問題」を多様な人、組織と協力して解決するために、「問題解決」「パートナーシップ」をどう考え方を転換する必要があるのか。そして、解決法を実践するために、どのような協力関係(協働、パートナーシップ)を進める必要があるのかを、講座と対話を通して考えます。



実践を通して学ぶ！ 育休・復職後の働き方・キャリアを考える場のつくり方 第6期
～育休後カフェ®・ファシリテーターになろう！

講座+場づくり実践+ふりかえりで、実行できる力が身につく実践型プログラム

11/09 (土) 10:00 - 18:00

+場づくり活動体験

【講師】山口理栄 (育休後コンサルタント)
広石拓司 ((株)エンパブリック)

<エンパブリックの出版物>



書籍 ソーシャルプロジェクトを成功に導く12ステップ ～コレクティブな協働なら解決できる！SDGs時代の複雑な社会問題

小さな個人・組織・会社がつながり、協力して、大きな社会を動かすには、どうしたらいいの？そのための考え方とプロセスを、12のステップに整理！社会で起きている問題に挑もうと考えている方のためのガイドブックができました。

著者 佐藤真久 × 広石拓司
発行 株式会社みくに出版
定価：1,800円 (税抜)

詳細・購入

<http://empublic.jp/sp12steps>

Amazon等でも販売中！



情報誌 **readiness for 2025** 地産知縁 vol.5

今、世界は大きな変革期です。会社、事業開発、組織、会議、学び、キャリアの6つにおいて今、始まっている変化が定着する**2025年の姿**を、現状との対比から、まとめました。変化に向き合い、変化を活かせる readiness (レディネス：準備・覚悟)を整えるヒントとしてご活用ください。購入ページ <http://empublic.jp/G250>



・冊子版800円
・PDF版540円



書籍「共に考える講座のつくり方 ～あなたの経験をみんなの学びに」 広石拓司 著 価格1,080円

ワークショップを始めたい方へ！
自分の経験から講演をつくる際のネタの
見つけ方から、講演の設計法、対話の場
づくりまで役立つノウハウをコンパクト
にまとめたガイドブック。プロの講師で
はない人が、学びの講座をつくるために
ご活用いただけます。
Amazonでも販売中！



第4号「アクションを促す 学びの場をつくるには？」

<事例紹介>
・エンパブリックの社会教育講座
・ご近所イノベーター学校、

<事例紹介>・aschoopl

第3号「起業家を育む基盤とは？」
・プロムリ・バイ・ポウ・センター
・リクルート・ベンチャーズ

第2号「ビジネスの現場で
ワークショップを活用するには？」

<事例紹介>
・キリン・ホールディングス Nakano Style
・台東デザイナーズビレッジ

第1号「対話の場の可能性と必要性」

好評発売中！

(価格は税込)

情報誌 「地産知縁」

1～4号セット 冊子版 1,620円
PDF版 972円

その他の出版物、ツールの紹介、
購入申込みはこちらから

<http://empublic.jp/publication>